

東日本大震災から13年

避難3万人、苦しみ今も

東北地方の岩手、宮城、福島の3県を中心に大きな被害をもたらした東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から、3月11日で13年になります。被災地ではこわれた道路や鉄道を元にもどす工事が大きく進みました。ただ、家に住めなくなるなどして約3万人が今も全国各地に避難しています。被災者の悩みに寄りそ

い、元の生活を取りもどしていけるかが課題です。

地震は2011年3月11日午後2時46分に起き、最大震度は7でした。地震の規模を示すマグニチュードは日本の観測史上最大の9.0。大きな津波がおし寄せ、全国で1万5900人の命が失われました。

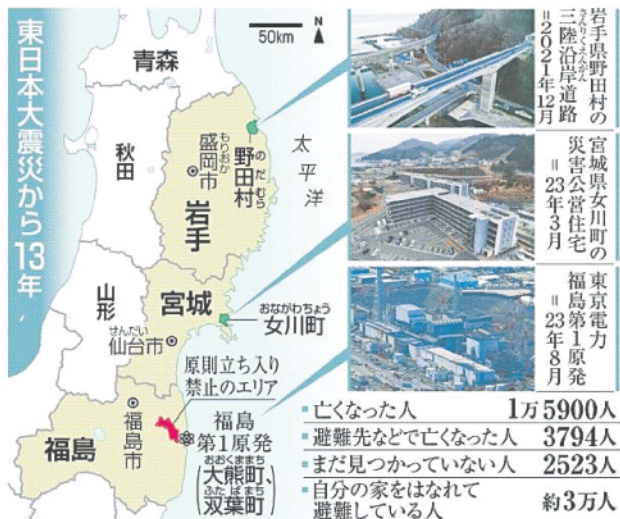
津波にさらわれるなどしてまだ見

つっていない人は2523人。避難先で体調が悪くなったりして亡くなった人も3794人に上ります。

福島県の福島第1原発は、原子炉を冷やすことができなくなり、人間の体に悪いえいきをあたえる放射性物質がもれて多くの人が避難しなければならませんでした。避難者の数は震災直後に約47万人と推定されています。福島県では今も七つの市町村で原則立ち入り禁止のエリアが残っています。

家を失った人が暮らすための災害公営住宅は、岩手で約5800戸、宮城で約1万5800戸、福島で約8千戸つくられました。道路はほぼ元通りになり、鉄道もバスに置きかえたものをふくめて全て利用できるようになりました。

一方で、被災者の悩み相談のため岩手、宮城、福島に設けた「心のケアセンター」への2021年度の相談件数は約1万7300件と、とても多い状態です。震災でつらい経験をしたり、生活かんきょうが大きく変わったりして今も苦しんでいることがうかがえます。



津波被害の教訓 役立つ

1月1日に発生した能登半島地震では、地震のすぐ後から津波が沿岸に到達しましたが、多くの人が避難することができました。津波が来ても東日本大震災のような被害にあわないよう、日ごろから訓練をするなど備えていたからです。

気象庁が津波警報を発表したのは、2011年の東日本大震災以来のことです。

石川県七尾市能登島の向田地区は津波で船が道路に打ち上げられ、海

沿いの家は玄関近くまで、にこった水がおし寄せました。自営業の鮫洲秀樹さん(71)は自宅にいて強いゆれを感じた瞬間、「津波が来る」と思ったそうです。高台に向かいながら、近所の人にも「津波が来るぞ。(高台へ)上がれー」と呼びかけました。鮫洲さんの声を聞いて、あわてて家を飛び出す人もいたそうです。

向田地区では、東日本大震災で大きな被害が出た津波のおそろしさを知った住民たちが、津波を意識した訓練をく

り返し行っていました。このことが今回のすばやい避難につながったと言います。「地区のだれも犠牲になっていない。日ごろの訓練のおかげです」と鮫洲さんは胸を張りました。



道路に打ち上げられた船=1月24日、石川県七尾市能登島

小学校
中学校
高学年向け

2024年3月5日付・下野新聞14面



202

設問

【1】東日本大震災に関わることを、新聞に書いてあることをもとに表にまとめてみましょう。

東日本大震災	
地震の起こった日時	①()年()月()日午後()時()分
大きな被害のあった3つの県	②()県、()県、()県
最大震度・マグニチュード	③震度()④マグニチュード()←日本観測史上最大
地震によって起きた自然災害	⑤()がおし寄せてきた。
地震によって起きた事故	⑥東京電力()事故 ⑦人間の体に悪いえいきをあたえる()がもれてしまった。

【2】今年1月1日に発生した能登半島地震でも津波が発生しました。石川県の向田地区ではどのようなことが「すばやい避難につながった」と書いてありますか? 次の()に言葉を当てはめてください。

・向田地区では、東日本大震災で大きな被害が出た津波の①()を知った住民が、②()を繰り返し行

っていたこと。

【3】あなたの住んでいる地域にとっても大きな地震が起きました。(想定) 次の①と②についてじっくりと考え、自分の動きをシミュレーションしてみましょう。

①どのような危険が考えられますか?(例:がけ崩れ、河川氾濫、建物崩壊等)

②あなたはどのように対応、対策をしますか?(例:避難の仕方、準備等)